

情報連絡員報告を中心とした

## 県内の中小企業動向

平成25年6月期

情報連絡員50名 回答数50名

全体概要  
【前月からの動き】

※下記の数字は情報連絡員からの回答数を表します。

（「好転(上昇、増加)」、「不変」、「減少(悪化、低下)」の3択回答のうち、「不変」を除く「好転」又は「減少」の回答数）

## 前月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は2から5に増加。「減少した」業種は10から3に減少。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は8から9に増加。「減少した」業種は11のまま変化なし。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は4から5に増加。「悪化した」業種は11のまま変化なし。

## 前年同月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は4のまま変化なし。「減少した」業種は5から8に増加。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は10から7に減少。「減少した」業種は9から10に増加。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は7のまま変化なし。「悪化した」業種は14から15に増加。

## 製造業

## しようゆ製造

【県内全域】

中元需要にて売上は増加した。

## 豆腐製造

【県内全域】

6月1日より多くの原材料が値上げされ、どのように価格の転嫁するべきか業界全体で思案中。

## 酒類製造

【県内全域】

業務用の販売は、引き続き低調。比較的高価格の商品の販売が増加傾向。製造コスト上昇分について、販売価格への転嫁が図れず、経営基盤の弱体化が懸念される。

## 牛乳小売

【県内全域】

牛乳の価格がkg当たり10円程度値上げの発表がテレビで放送された。値上げ時期は秋頃の見込み。

## 製材

【木更津】

木材の業界も厳しく、在庫を減らして支出圧縮で耐えている。

## 印刷

【県内全域】

6月の受注売上は、5月とほぼ同じだが、稼働日数を考えると3カ月連続悪化。価格競争も一段と厳しくなり、各社が勝ち残り戦略を立て実行するのみ。

用紙の値上げがメーカーから発表されて2カ月が経過。販売量の不振が続く、販売価格の上昇は未だ不透明。

## 電気鍍金

【県内全域】

前年同期の101%と微増となったが今後は不透明。

## 鉄工

【千葉】

大手メーカーの業況好転から組合員の景気上昇に対する期待は大きく膨らんでいる。足元の動向は、依然として低水準下にあるため、大きな期待感には程遠い状態での推移になっている。

## 機械部品製造

【野田】

材料等の値上がり分を単価に即転嫁できず、収益を圧迫している感がある。建設関係は、動きが多くなり、恩恵がはじめて来た模様。

## 機械部品製造

【流山】

仕事が減少している業種があり、若干景気が後退している感が強い。電気料金が高くなり、中小製造業の収益に大きなダメージがあり死活問題である。

## 機械部品製造

【柏】

受注ベースでは、6月後半以降、半導体関連、工業ミシン部品等増えているが、先行き不透明かつ短期的な動き、構造的な変化は見えない。成長分野参入に対して、自助努力と変革は条件だがグローバルでの競争力低下と参入への障壁があり難しい。

